

### 3 研究のまとめ

#### (1) 研究の成果

(児童)

- ・ 参加型学習を活用することにより、学習への興味が高まりました。
- ・ 自分の考えを他者に伝えることで、自分の考えが明確になった様子が見られました。

(教職員)

- ・ 自己の気づきを通して、授業や自校の職員研修に活かそうとする意欲が高まりました。
- ・ 話を聴くだけより、「気付いた」ことで、他人事ではなく、自分の身近な問題として捉える姿が見られました。
- ・ 学習の場の雰囲気は温かくなり、学習者同士の相互理解にもつながりました。
- ・ 3つの側面のうち、特に「価値的・態度的側面」に関する効果が高く見られました。

#### (2) 研究の課題

- ・ 参加型学習について、従来行われてきた「構成的グループエンカウンター」や「グループワークトレーニング」のイメージを強くもたれた教職員が多かったため、今後は様々な人権課題や、人権に関する条約や法律なども扱う内容であることを示していく工夫が必要だと考えています。
- ・ 3つの側面のうち、「価値的・態度的側面」の指導に偏ることのないように、他の2側面に関連する学習の素材をより多く提示します。
- ・ 教職員が、より学校現場で実践しやすいよう、学習指導案やワークシートの充実を図ります。
- ・ ファシリテーターとして、より参加型学習が進めやすいよう、進め方のポイントについて整理します。
- ・ 研修内容が学校現場での実践にどうつながったのかを、追跡調査し、次年度につなげたいと考えています。